



まちの話題



問 まちづくり推進課：0869-22-1031

知っ得！情報

まちの話題

生活と環境
安全通信

健康ライフ

まなびの部屋

くらしの情報

みんなの広場

黒田官兵衛ゆかりの自治体などが交流

黒田サミット in 瀬戸内市

11月25日、ゆめトピア長船で、戦国時代の武将・黒田官兵衛にゆかりの自治体や関係団体などが一堂に会して交流する黒田サミット in 瀬戸内市を開催しました。黒田家16代当主・黒田長高氏のあいさつに続き、優れた先見性と洞察力を持ち、数々の軍功を挙げたにも関わらず、生涯謙虚な態度を貫いた官兵衛の人生について、歴史研究家の黒田美江子氏が講演を行いました。

また、黒田家に関係する5市（滋賀県長浜市・兵庫県姫路市・大分県中津市・福岡県福岡市・瀬戸内市）の行政・市民団体代表者が「黒田官兵衛とおした町づくり」をテーマに実践発表を行いました。



実践発表を行った関係5市の行政・市民団体代表者（左下）／黒田美江子氏による講演（右上）

健康や障害などに関する理解を深めました

せとうち保健福祉フェスタ 2012



薬を作る手順を学ぶ子ども調剤体験（左下）／相互理解などの重要性を学んだ講演（右上）

11月18日、ゆめトピア長船で、せとうち保健福祉フェスタ 2012 が開催されました。

田淵泰子氏による講演会では、地域交流イベントでの精神疾患の当事者と地域の皆さんの関わりや京山中学校（岡山市北区）で行っている「心の病気を学ぶ授業」などを紹介しながら、ささいなことから差別や偏見が生まれることや、相互理解の機会や各種疾患について学ぶ機会を設けることの重要性について話しました。

また、障害者スポーツを題材にした映画の上映や、保健・福祉に関する各種相談、支援学校などを紹介する展示も行われました。

戦没者に鎮魂の祈り

戦没者追悼式

11月9日、ゆめトピア長船で、戦没者追悼式を行いました。式典には、太平洋戦争などで犠牲になった戦没者1,378柱の遺族の皆さんのほか、約240人が参列しました。

君が代斉唱、黙とうに続き、武久顕也市長が「尖閣諸島、竹島の領有権問題が生じるなど恒久平和への努力が試されている。大きな難題を乗り越えて、平和な世の中になることを切に望む」と式辞を述べました。

その後、来賓や遺族など参列者の皆さんは、市職員から白菊を手渡されると、祭壇の前に献花を行い、戦没者に鎮魂の祈りをささげました。



式辞を述べる武久市長

スイーツ作りに挑戦

中央公民館わくわくチャレンジ

11月17日、中央公民館（邑久町尾張）で、わくわくチャレンジ（スイーツ作り）を行いました。

幼児、児童らとその保護者ら15人が参加し、スイートポテトとフルーツ入りヨーグルトムースを作りました。

子どもたちも包丁を握り、さつまいもを小さく切って下準備。スイートポテトが焼き上がるころには、香ばしい香りが会場を包み込んでいました。



ミカンとヨーグルトをミキサーでかき混ぜる

地域の子どもは地域で育てる

瀬戸内市青少年健全育成推進大会



講演を行った金澤氏（左上）／児童による瀬戸内市優秀賞を受賞した作文の朗読（右下）

11月23日、ゆめトピア長船で、瀬戸内市青少年健全育成推進大会（兼瀬戸内市PTA連合会研修会・兼家庭教育学級合同研修会）を開催しました。

第一部として、「明るい家庭づくり作文」の発表が児童・生徒・保護者らにより行われ、発表者は家庭での出来事や体験を通して、家族の絆が強まったことなどを話しました。第二部では、ダウン症の女流書家・金澤翔子さんの母である金澤泰子氏が講演を行いました。金澤氏は、翔子さんを育てる過程を振り返り、「辛く苦しい思いをしていますが、後で振り返ると一つとして無駄なことはない。闇の中にこそ光がある」と話しました。

こんな図書館があったらいいな

としょかん未来ミーティング子ども編

11月16・17日、中央公民館（邑久町尾張）で、としょかん未来ミーティングを開催しました。第6回目となる今回は「子ども編」と題して行い、企画、運営は市内の中・高校生が行いました。

17日には、邑久中学校・長船中学校・邑久高等学校で行った図書館についてのアンケート結果の発表の後、小学生を含む参加者約20人がグループ討議を行い、新図書館への要望などを話し合いました。

グループ討議では、「新しい本をたくさん入れてほしい」「勉強できる個室がほしい」「DVDを借りられるようにしてほしい」などの意見が出されました。



付箋紙や色ペンを使って意見をまとめる（左下）／アンケート結果の発表（右上）